パロマ電子ジャー付 ガス炊飯器

器具名：PR-3200S-1
PR-4200S-1

PR-3200S
PR-4200S



このたびは電子ジャー付ガス炊飯器をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

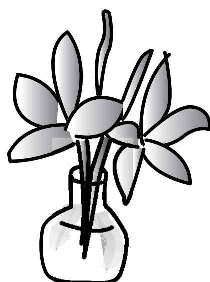
●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。

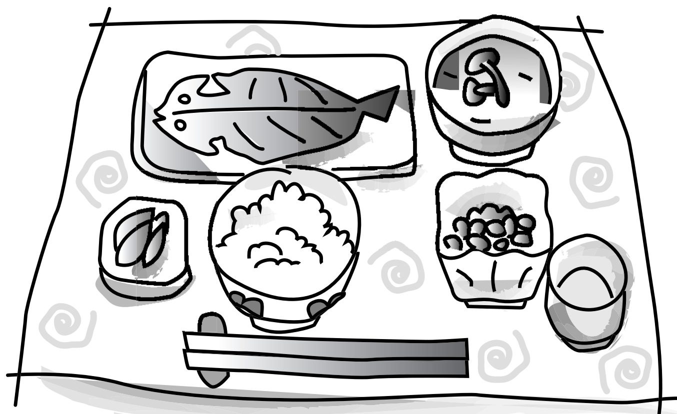
●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。

●「取扱説明書」を紛失された場合は、お近くの当社までお問い合せください。

取扱説明書

保証書付





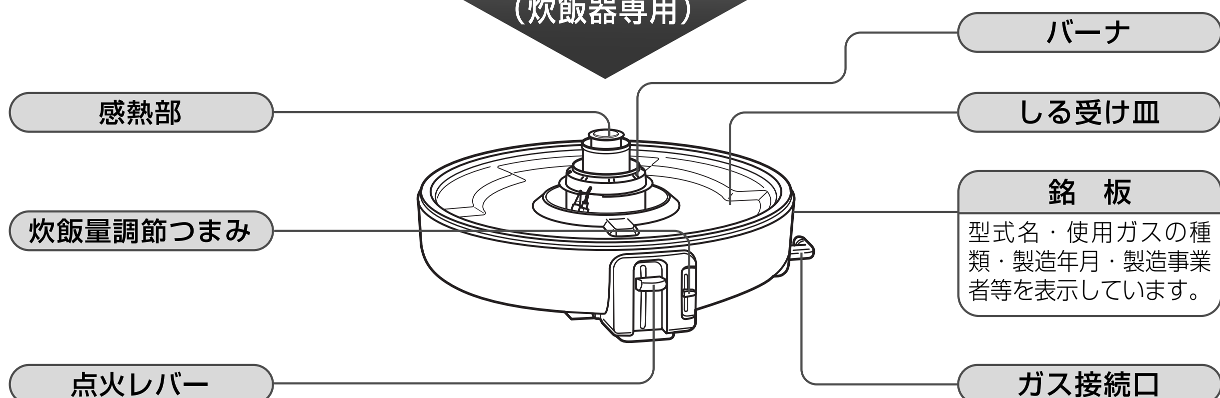
もくじ

各部のなまえ

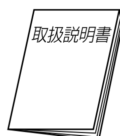
かま部

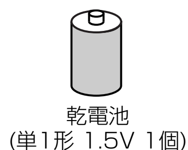
内ぶた
フッ素樹脂加工がま
排気口
持ち手
外　胴
点火確認窓
フックボタン
ハンドル
外ぶた
持ち手
つゆ受けカップ
機器用プラグ差し込み口
保温ランプ

燃焼部
（炊飯器専用）



・付属品・




乾電池
(単1形 1.5V 1個)


電源コード

必ずお守りください

【安全に正しくお使いいただくために】

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。


一般的な禁止


火気禁止


接触禁止


濡れ手禁止


分解禁止


必ず行う

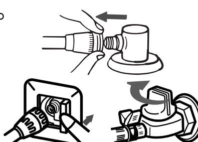

電源プラグを抜け

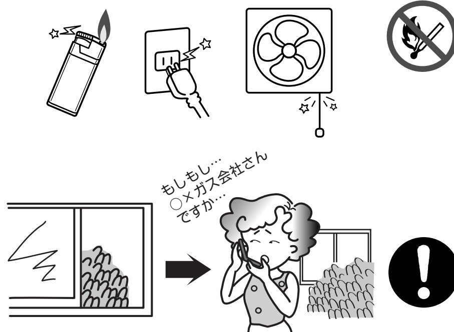
⚠危険

ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないでください。炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
（つまみのないガス栓の場合はガス栓から接続具をはずす）
②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
③お近くのガス事業者まで連絡する。

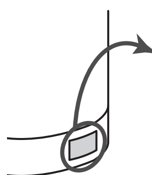




⚠警告

機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）の適合を確認する

表示のガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガス種が一致しているか確認してください。
＊おわかりにならない場合または合っていない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者までご連絡ください。



ガス消費量
型式名
使用ガス
ガスグループ　ガス消費量
定格電圧　単相AC100V
定格周波数　50Hz/60Ｈｚ
定格消費電力　○W/○W
製造年・月・製造事業者名

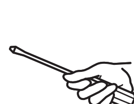


電源はAC100Vを使用する

分解禁止

修理・改造は高度な専門知識が必要です。工具を使用して分解したり修理・改造を行うことはお客様ご自身では絶対にしないでください。発火したり、異常作動してけがの原因となります。







必ずお守りください

⚠警告

火をつけたままの外出、就寝禁止

火災の原因になります。



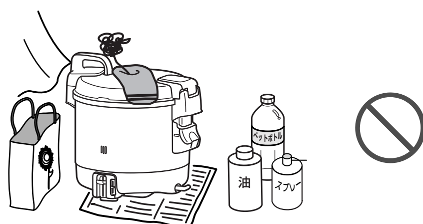
機器の上や周囲には可燃物や引火物を置かない、近づけない

ペットボトル、調理油などは火災の原因になります。また、スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどは、熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

●機器の下に新聞紙やビニールシートなどの可燃物を敷かないでください。また、電源コードを通さないでください。

炊飯中、排気口の上にタオル、ふきんなどをのせない

火災や不完全燃焼の原因になります。



使用中の持ち運び禁止

火がついたまま持ち運ばないでください。
火災、やけどの原因となります。



消火の確認

使用後の消火を必ず確かめてください。



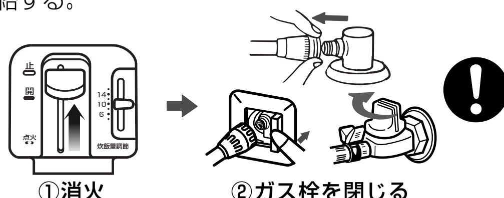
機器の周囲では引火のおそれのあるものを使用しない

スプレー、ガソリン、ベンジンなどは、引火して火災のおそれがあります。



異常時の処置

①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用途中で消火した場合、地震、火災など緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。（つまみのないガス栓の場合は、ガス栓から接続具をはずす）
②「故障かな？と思ったら」に従い処置する。
③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かお近くのパロマまで連絡する。



①消火　②ガス栓を閉じる

ガス接続

ガス用ゴム管（ソフトコード）を使用する場合は、検査合格マークまたはJISマークの入っているものを使用し、赤線まで差し込んでゴム管止めでしっかり止める
ガスコードを使用の場合は、スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って、正しく接続する

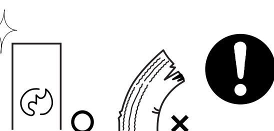
①継ぎ足しや二叉分岐は絶対にしない
②機器の上や下を通さない
③他の熱源などの高温部に触れない
④折れ、ねじれ、引っ張りなどのないようにする
⑤接続口に汚れやごみがないようにする

●正しく接続されないとガス漏れの原因になります。
●ガス用ゴム管, ガスコード以外は耐久性に欠けガス漏れの原因になります。



ゴム管はときどき点検して取り替える

古くなるとひび割れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因になります。



当社の純正部品を使用する

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。それ以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。



⚠警告

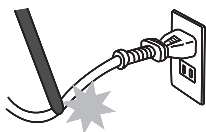
内釜をセットするとき、炊飯器内側にしゃもじ等の異物が無いことを確認する
かまを燃焼部にのせるとき、燃焼部にしゃもじ等の異物が無いことを確認する



異常燃焼や火災の原因になります。

電源コードを切断して延長はしない 電源コードを束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない

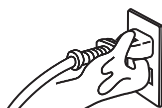
感電、ショートや火災などの原因となります。





ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電のおそれがあります。





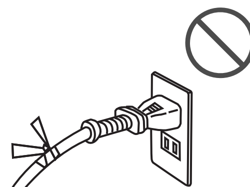
電源プラグのほこりなどは定期的に取る

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



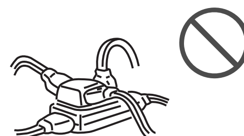
電源プラグは根元まで完全に差し込む。傷んだ電源プラグ、コードを使用しない

差し込みが不完全な場合、感電・発火による火災の原因になります。傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントはつかわないでください。



コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外で使わない

たこ足配線などで定格を超えると、コンセントが過熱され発火し、火災のおそれがあります。



⚠注意

ガス事故防止

閉めきった部屋で長時間使用しないで、使用中は窓を開けるか換気扇を回してください。一酸化炭素中毒の原因になります。また、ストーブなど他の燃焼機器を長時間使用している部屋でお使いの場合は、点火しにくかったり、正常に燃焼しない場合があります。

＊自然排気式給湯器および風呂釜を同時に使用する場合は、換気扇を回さず窓などを開けて換気してください。換気扇を回すと自然排気式給湯器および風呂釜の排気ガスが屋内に流れ込むおそれがあります。



炊飯中はふたの開閉をしない

途中消火したり、ご飯がうまく炊けない場合があります。



炊飯以外の用途には使わない

過熱・異常燃焼による機器焼損や火災の原因になります。

＊こんろとして使用しないでください。



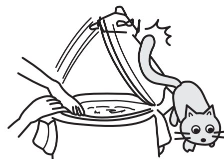
かま部を移動させるときは、左右の持ち手を持って運ぶ。ハンドルは持たない

ハンドルはふたの開閉しかできません。



ふたを開けて作業しているときは、ふたが倒れてこないように気を付ける

ふたと外胴に手をはさまれ、ケガをすることがあります。





幼児や小さな子供に触らせない

思わぬ事故の原因になります。



⚠注意

炊飯中や炊飯直後に蒸気口・排気口に手や顔を近づけない
蒸気や排気でやけどをするおそれがあります。



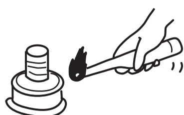
炊飯直後かま部を移動させる場合は、ビニールクロス、畳等の上に直接置かない
かまの底部が高温になっているため、火災の原因になります。



点火操作をするときは点火確認窓に目を近づけない
炎で顔にやけどをするおそれがあります。

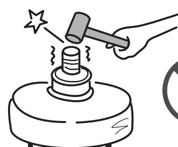


この機器の点火装置以外の方法では点火しない
やけどをするおそれがあります。



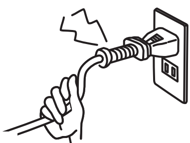


感熱部に強いショックやキズを与えない
感熱部が故障する原因となります。



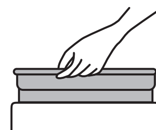


電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない
電源コードを引っ張ると破損して感電や火災の原因になります。





内釜をセットするときは上端部を持つ
内釜と本体に手をはさまれ、ケガをすることがあります。





水平で安定したところに設置する
事故や故障の原因になります。



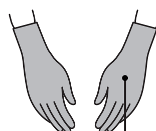
使用中や使用直後は操作部以外は触らない
機器本体とその周辺が熱くなるため、やけどをするおそれがあります。
＊特に小さなお子さまがいる家庭では注意してください。



点火操作をしても点火しない場合は点火レバーを戻して、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする
すぐに点火操作をすると周囲のガスに点火して、衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。



点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う
手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。

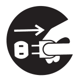




おねがい

初めて使うときやしばらく使わなかったときなど点火しにくい場合があります。ゴム管内に空気が入っているためです。繰り返し点火操作してください。

雷が発生し始めたら速やかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。（またはブレーカーお落としてください。）雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



＜乾電池使用機器の場合＞

廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずして下さい。火災の原因になります。

設置について

部品のセット

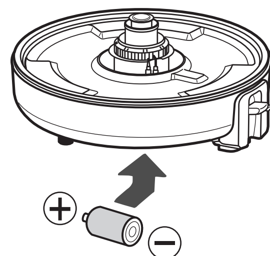
①箱から機器の底を持って取り出し、あて紙や梱包部材を取り除く
②ご家庭のガスの種類と機器の銘板に表示されているガスの種類が合っているか確かめる
③合っていない場合は設置をやめて、お買い上げの販売店かお近くのガス事業者まで連絡する

乾電池のセット

単1形（1.5V）1個を＋が左になるように－から先に入れる
＊点火時のパチパチする音が遅くなったら交換の時期です。

おねがい

- 乾電池の＋と－を逆に入れると作動しません。
- 電池ケースに水などの異物が入った場合は、電池接触不良の原因となるため、ふきとってきれいにしてください。
- 乾電池の寿命は通常の使い方で約１年です。ただし、付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。



設置場所と周囲の防火措置

一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。
＊防火措置は各地の火災予防条例に従ってください。

⚠警告

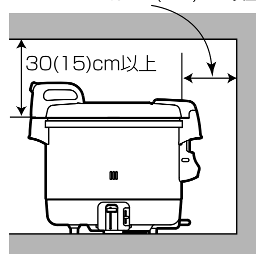
下記の条件を満たしている場所をお選びください。
＊設置後に、機器の周囲の改装（吊り戸棚をつけるなど）を行う場合も設置基準をお守りください。

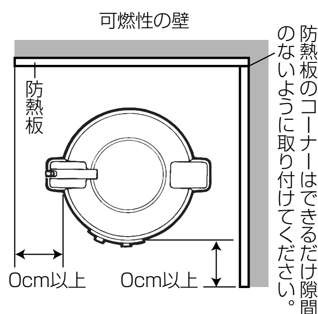
- **換気が良い**
- **水平で安定している**
- **落下物の危険がない**
- **周囲に可燃物がない**
- **風が吹き込まない**
- **水や熱がかからない**
- **上に照明器具などの樹脂製品がない**
- **上に湯沸器がない**
- **幼児の手が届かない**

ステンレス板や薄いタイルなどの不燃材を可燃性の壁に直接貼り付けた場合でも、下記①、②の防火措置を必ず行う
伝熱により長年の間に可燃物が炭化し、火災になることがあります。
☆設置後に、機器の周囲の改装をする場合も設置基準をお守りください。

①可燃物（壁、棚など）から十分離して設置する
周囲の可燃物より、
PR-3200Sは10cm以上、PR-4200Sは15cm以上離します。上方は30cm以上離します。

②①の条件を満たせない場合は防熱板を取り付ける
金属以外の厚さ3mm以上の不燃材を図のように取り付けてください。
不燃材を取り付けた場合は（　　）内の寸法に従ってください。





設置について

ゴム管接続の場合

★用意するもの

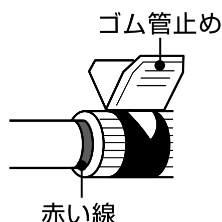
φ9.5mmガス用ゴム管（新品）1本とゴム管止め2個

（都市ガス用とLPガス用があります。お使いのガスに合わせてお選びください。）

①ゴム管を機器に触れないように適切な長さに切る

②両方のゴム管口の赤い線までゴム管を差し込み、ゴム管止めで止める

③ガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確かめ、ガス栓を閉める



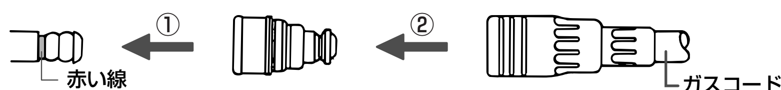
ガスコード接続の場合

＊ガスコードを接続する場合は、ガス栓側がコンセントになっていないと接続できません。
従来のガス栓で使用する場合は、ガス栓用プラグが必要です。

ガス機器側の接続

①下図のように、まず器具用スリムプラグを機器のゴム管差し込み口に取り付ける

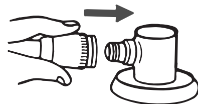
②次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに“カチッ”と音がするまで差し込む
（器具用スリムプラグに同梱してある取扱説明書に従ってください。）



ガス栓側の接続　（ガス栓がガステーブル用であることを確認してください。）

①ガス栓を開けるとき

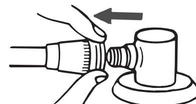
コンセント継手を“カチッ”と音がするまで確実に差し込む



●コンセント継手を差し込むとガスが開きます。

②ガス栓を閉めるとき

コンセント継手のすべりリング（白色）を手前に引く



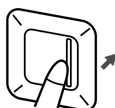
●コンセント継手がはずれるとガス栓が閉まります。

ガスコンセントについて

「ガスコンセント」は、ガスコード等を取り付けると自動的に開栓し、取りはずすと自動的に閉栓します。

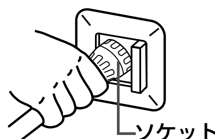
●フタを開ける

フタの右端を押す



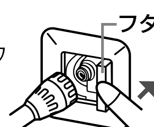
●取り付ける

“カチッ”と音がするまで差し込む



●取りはずす

右端にあるフタを押す

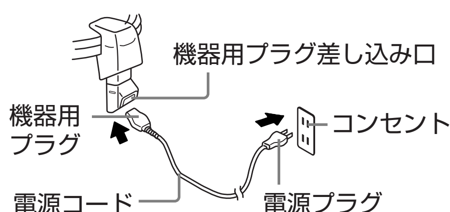


電源コードの接続

炊飯後保温する場合は、電源コード（付属品）の電源プラグをコンセントに、機器用プラグを機器用プラグ差し込み口に接続する

＊保温中以外は電源コードをコンセントから抜いてください。

※付属の電源コードはパロマ炊飯器以外に使用しないで下さい。



炊飯の準備

1 お米を正しく計り、手早く洗う

●最初にたっぷりの水を加えてさっとかき混ぜ、すぐに水を捨てます。
その後は水のにごりがなくなるまで洗います。
●洗米機をご使用の場合は、洗米機の取扱説明書に準じて洗米を行ってください。

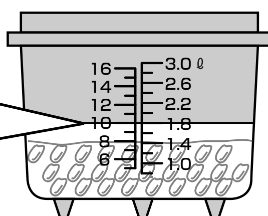
おねがい

●洗いかたが不十分な場合は、こげや保温時の臭いの原因になります。
●一度水に浸したお米は砕けやすく、長く洗米されると砕け米が多くなります。
また、力を入れすぎるとお米が砕けやすくなります。
●砕け米・粉米などが混じって炊飯すると風味を損ね、早切れ、炊きむら、着色の原因になります。

2 水かげんをする

●かまを水平な台の上に置いてお米を平らにならし、内側にある水位目盛りで合わせてください。
●目盛りはめやすですので、お好みに合わせて水加減してください。
特にやわらかく炊きたいときでも、水増しの量は1目盛りまでにしてください。
●お米をおいしく炊くために、しばらく水に浸しておきます。
●かまの内側にある水位目盛りは右側が「リットル」、左側が「カップ（合）」を示します。
●無洗米を浸漬すると、米の表面に気泡が付着しますので、底の方から数回かき回して吸水しやすくしてください。また、水に濁りがある場合は、一度軽く洗ってください。無洗米を炊く場合の水量および浸漬時間は「無洗米メーカーの炊きかた」に従ってください。
●長時間保温するときは、少し多めの水加減で炊飯するとご飯の乾燥が目立ちません。

10カップ（1升）のお米を炊くときは、「10」のめもりまで水を入れる



[例] PR-3200S

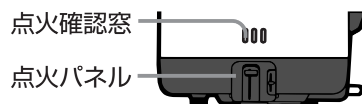
お米を水に浸しておく時間		
季　節	春～夏	秋～冬
白　米	30分以上	60分以上
胚芽精米 輸入米・古米	60分以上	90分以上
無洗米	「無洗米メーカーの炊きかた」に従ってください。	

＊ただし、14時間以上浸しておくと変質の原因となります。

おねがい　表示以外の炊飯量以上および以下での炊飯はしないでください。ふきこぼれたり、炊きむらの原因となります。

3 外胴を燃焼部にのせる

●外胴は点火確認窓が、正面の点火パネルの上になるようにのせます。
●外胴が正しくのっていないと、点火操作ができなかったり、早切れしたり、こげる原因となります。

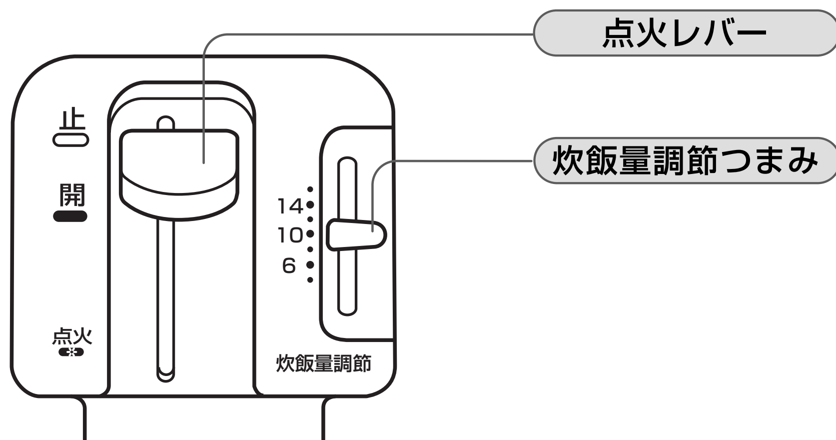


4 内釜を炊飯器に入れる 内ぶたを付け、外ぶたを閉める

●内釜の外側や炊飯器内側に付いた米粒・水は必ず拭き取ってからセットしてください。
●内ぶたにパッキンを正しく取りつけてください。（15ページ参照）

5 点火レバーが「止」の位置にあることを確認した後、ガス栓を全開にする

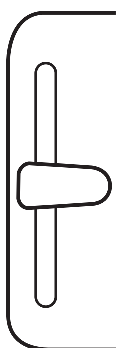
炊飯について



1 炊飯量と同じ「カップ(合)」数に炊飯量調節つまみを合わせる

●炊飯量に見合った火力に調節できます。

10カップ(一升)のお米を炊くときは、「10」につまみを合わせる

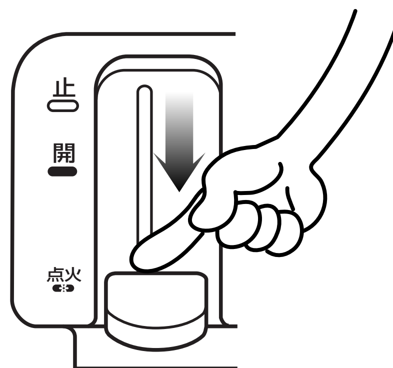


[例]PR-3200S

●めもりはめやすです。お好みにより微調整してください。
●赤飯・おこわ・混ぜごはん等はうまく炊けない場合があります。
●少ないお米を炊くときに、お好みにより水を多くするときは、炊飯量より多めのめもりに合わせてください。炊飯時間が長くかかることがあります。

2 ①点火レバーをいっぱいまで押し下げ、そのまま数秒間保持する

●パチパチと音がして点火します。



②手を離しても点火していることを点火確認窓から確認する

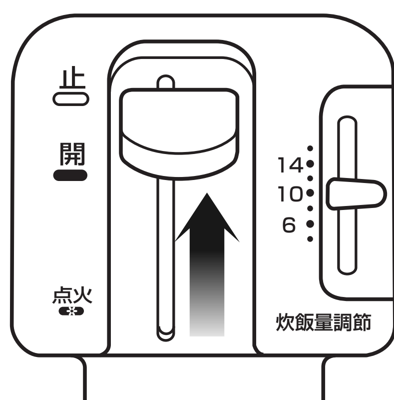
●使用中もときどき燃焼を確認してください。

⚠注意

万一点火しないときは、点火レバーを「止」の位置までもどした後、いったん内釜をはずしてガスを逃がす。その後内釜をセットし直し、改めて点火操作を行う
→ガスを逃がさないと爆発点火ややけどの原因になります。

3 ①ごはんが炊きあがると、点火レバーが「止」にもどり消火する

●ふたを開けないで、15分程むらしてください。
●むらしが終わったら、ベタついたり、固まったりするのを防ぐため、必ず早めにごはん全体をほぐしてください。炊飯後、そのまま保温する場合も必ず行ってください。

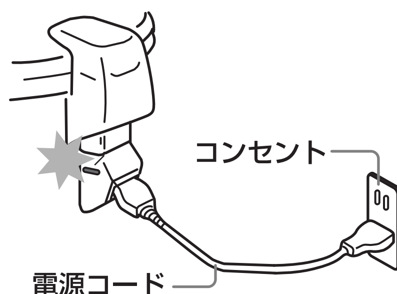


②消火を確認後、ガス栓を閉める

＊燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

4 ①電源コードをコンセントに差し込む

●保温ランプが点灯し、保温状態となります。



②保温終了後は電源コードをコンセントから抜く

おねがい

保温は必ず炊飯終了後に行ってください。特に炊飯前に保温状態になると、洗米した米がふやけておいしく炊けなくなります。また、機器の故障の原因にもなります。

おいしく保温するには

おいしく保温するには

保温時間は
12時間以内に

●12時間以上は臭い、変色、パサつきの原因になります。

●燃焼部（こんろ部）よりはずし、上部のみで保温する場合は3時間以内にしてください。

長時間保温するときは

●やわらかめに（少し多めの水かげんで）炊飯してください。乾燥が目立ちません。

乾燥や変色をさせないために

●ごはんを内釜中央部に山のように寄せます。

停電したときは

●保温中停電したときは、短時間なら問題ありませんが、長時間になってごはんが冷えてしまった場合は、再度保温しないでください。

こんな保温はやめましょう………………………………

しゃもじを入れたままの保温

●臭いの原因になります。

風の当たるところでの保温

●保温効果が悪くなります。

冷えたごはんの再保温／ごはんをつぎ足しての保温

●パサつき、臭いの原因になります。

おかゆ、炊き込みごはん、赤飯などの保温

●黄ばみや臭いの原因になります。

少ないごはんの保温

●ごはんの水分が早く蒸発するため劣化が早くなります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。下記の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常のあるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

現　　象	原　　因	処置方法（参照ページ）
点火しない 点火しにくい 使用中に消火する	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする(8)
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がりを直す(3)
	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する(3、7)
	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナ炎口のお手入れをする(16)
	ゴム管内に空気が残っている	点火操作をくり返す(9)
	点火操作が不適切	点火レバーを押す時間を長くする(9)
	炎検出部・電極が水ぬれしたり汚れている	お手入れをする(16)
	かまのセット不良	正しくセットする(8)
	電源プラグが正しく差し込まれていない	確実に差し込む(7)
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する（6、14）
黄色の炎で燃える 炎が安定しない 異常な音をたてて燃える	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナ炎口のお手入れをする(16)
ガスのいやな臭いがする	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する(3、7)
	ゴム管のひび割れ、穴あき	新しいゴム管と交換する(7)
ごはんがうまく炊けない 自動消火しない 早切れする ふきこぼれが多い ごはんがこげる 炊きむらがある ごはんがふやける	機器が傾いている	正しく設置する(6)
	かまのセット不良	正しくセットする(8)
	内釜裏の凹部、感熱部が汚れている	お手入れをする(16)
	外ぶた・内ぶたが確実に閉まっていない	確実に閉める(8)
	お米の量、水加減、火力調節が不適切	「炊飯の準備」「炊飯について」に従う(8)
	むらしをしていない	炊きあがり後15分ほどむらす(10)
	炊飯前に保温状態にした	保温は炊飯終了後に行う(10)
	赤飯・おこわ・まぜごはん等を多めに炊いた	具・お米の量を共に減らす
	ザルで水切りしている	洗米後は必ず水に浸す(8)
	浸し時間が適切でない	表を参照する(8)
うまく保温できない ごはんが冷める ごはんが乾燥する いやな臭いがつく	割れ米になっている	正しく洗米する(8)
	炊きあがり後、ごはんをよくほぐしていない	ほぐして水分を飛ばす(10)
	ごはんにぬか分が残っている	正しく洗米する(8)
	停電していた	ごはんが冷えた場合は再度保温しない(11)
	外ぶた・内ぶたが確実に閉まっていない	確実に閉める(8)
	12時間以上保温した	12時間以上の保温はしない(11)
	ごはんが冷えてから保温した	再保温はしない(11)
	しゃもじを入れたまま保温した	しゃもじは取り出して保温する(11)
	内釜・内ぶたが汚れている	よく洗う（煮沸する）(15)
	少量のごはんを保温した	内釜の中央に集める(11)
	ごはんにぬか分が残っている	正しく洗米する(8)
	炊きあがり後、ごはんをよくほぐしていない	ほぐして水分を飛ばす(10)
	14時間以上お米を水に浸した	14時間以上お米を水に浸さない(8)

故障かな？と思ったら

こんな場合は故障ではありません

故障ではない場合	理　　　由
点火・消火のときに「ジー」「ボッ」という音がする	点火音・消火音で、異常ではありません。
使用中「シャー」という音がする	ガスの通過音で、異常ではありません。

＊炊きあがり終了時の温度は調整することができます。
炊きあがりが、こげができたり、べちゃつきができた等で調整をご希望の方は、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでお問い合わせください。

立消え安全装置が作動したとき

風やふきこぼれなどで炎が消えたとき、自動的にガスを止めます。
点火レバーを「止」の位置にもどしてください。再点火するときは、周囲にガスがなくなるのを待ってから点火操作してください。

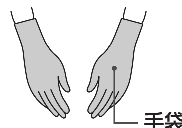
点検とお手入れ

⚠注意

機器を水につけたり、水をかけたりしない
→不完全燃焼・故障の恐れがあります。



点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う
→手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。





おねがい

- 点検とお手入れはガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。（機器が冷えるまで時間がかかります。）
- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。
- 「故障かな？と思ったら」を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店かお近くの当社にご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。
- 安全にお使いいただくために定期的に点検を受けられることをおすすめします。（有償）

点検のポイント

点検は常時行ってください

1. 機器の周りに可燃物等はありませんか？
2. 各部品（外胴、内釜、内ぶた、つゆ受けカップ）が正しくセットされていますか？
3. ゴム管は正しく接続されていますか？ 古くなっていませんか？
4. 汚れていませんか？
5. ガス臭くありませんか？
6. 電源コードが傷んでいませんか？
7. 乾電池は消耗していませんか？
   点火のときのパチパチする音が遅くなったときは新しい乾電池と早めに交換してください。

お手入れのしかた

- 機器や取りはずした部品は落とさないように気を付けてください。ケガや故障の原因になります。
- お手入れの後は各部品正しくセットされているか確認してください。

お手入れには台所用中性洗剤をお使いください

おねがい

シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。また、印刷塗装面にはみがき粉、たわしなどの固いものは使わないでください。表面を傷付けます。

ふた・機器本体

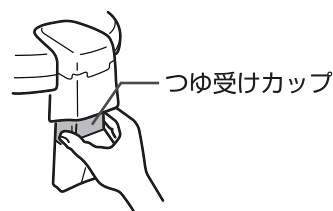
水気をしぼった布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とした後、洗剤分をふき取り、からぶきする

外ぶた・機器本体

水気をしぼった布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とした後、洗剤分をふき取り、からぶきする

つゆ受けカップ

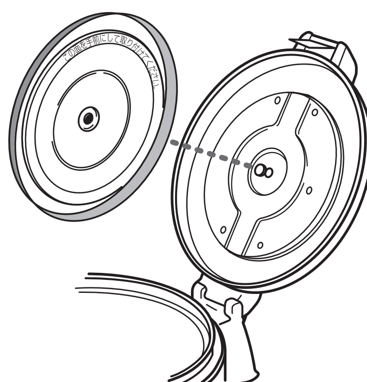
つゆ受けカップにたまったつゆはその都度捨て、水洗いした後、乾いた布で水気をふき取る



取りはずしかた つゆ受けカップの突起に指をかけ、(左方向へ) 回転させながら取りはずす

取り付けかた みぞを合わせ奥まで差し込む

内ぶた



取りはずしかた

内ぶたを持って、
一方の手で外ぶたを支え、手前に引く

取り付けかた

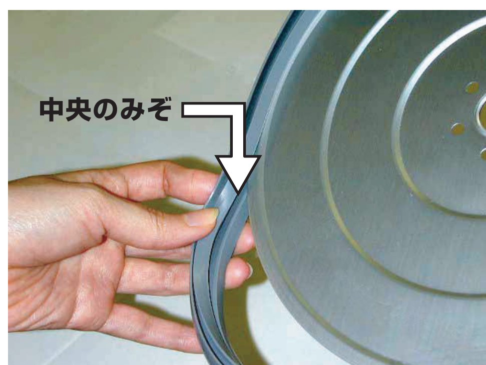
内ぶたを外ぶたにいっぱいに押し込む

内ぶたパッキン

汚れのひどいときは、取りはずして洗ってください。

取り付けるときは、パッキンの中央のみぞに内ぶたをはめ込みます。

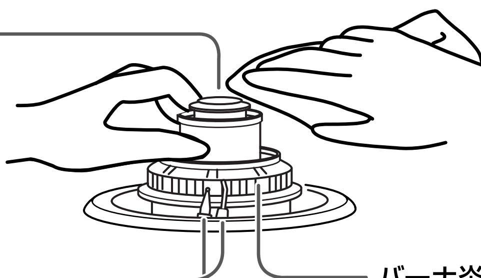
内ぶたにパッキンを付け忘れたり、正しく取り付けられていないとごはんが乾燥する原因になります。



感熱部

感熱部の頭部

感熱部の頭部が汚れたときは、感熱部に片手を添えて水気を固くしぼった布で汚れをふき取る



電極・炎検出部

汚れや水分が付いたときは、取り付け位置を動かさないように注意して、やわらかい布でふき取る
＊汚れや水分が付いていると、点火しにくくなります。

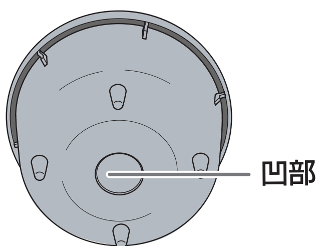
バーナ炎口

バーナがつまっているときや汚れのひどいときは、電極・炎検出部の取り付け位置を動かさないように注意して、バーナをブラシで掃除する

内　釜

使用後はこめ粒、おねば等を洗い落とし、常に水切りよく保存しておく

- ●特にまぜごはん等の後のお手入れや水切りは、十分行ってください。
- ●凹部の汚れはふき取ってください。



フッ素樹脂加工釜について

- ●しゃもじはプラスチック製または木製のものを使用し、内釜を洗うときはやわらかいスポンジをお使いください。（スチールウール、たわし、みがき粉などは使用しないでください。）
- ●内釜の中で食器や野菜などを洗うことはおやめください。
- ●酢などの酸の強いものを使用することはおやめください。
- ●使っているうちにピンホール（針先程度の穴）やはく離が発生しても当初はフッ素樹脂の性能には変わりありません。しかし、著しくはく離が進行して使用に不便をきたすようなときは、新しい内釜をお求めください。

いやな臭いがついたときは

- ●かまにコップ1杯分（約200ml）の水を入れ、炊飯の要領で点火し自動消火するまで煮沸してください。かまが冷えた後水洗いして、水気をふき取ってください。

保管とアフターサービス

保管（長期間使用しないとき）

①ガス栓を閉め、ゴム管をはずす
②ごみ・ほこりが入らないようにビニールやテープ等でゴム管口をふさぐ
③汚れを取り除く（「点検とお手入れ」参照）
④乾電池を取りはずす
⑤箱またはビニール袋等に入れて、湿気やほこりの少ないところに保管する

アフターサービスについて

点検・修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。

なお、修理のご依頼は、【電話】0120-193-860
でも24時間受付いたしますので、ご利用ください。
アフターサービスをお申しつけのときは右記のことをお知らせください。

- ●ご住所・ご氏名・電話番号
- ●現象(できるだけ詳しく)
- ●品名・型式名(銘板表示のもの)
- ●ご購入日・ガス種
- ●道順

受付時間	平日　9：00～18：30 土曜日・日曜日・祝日　9：00～17：00（修理受付のみ）

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスコールセンター	〒001-0033 札幌市北区北33条西7丁目1－1	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスコールセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館20－10	022-239-1848	022-238-0838
関　東サービスコールセンター	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-1-6藤枝ビル6階	03-3986-0860	03-3986-0895
中日本サービスコールセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6－23	052-824-5188	052-824-5670
近　畿サービスコールセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2F	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスコールセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋3丁目8－12	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスコールセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-13	092-472-0924	092-471-8400

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品は製造打ち切り後6年間保有しております。
長年のご使用でいたんだ場合にはお買い求めください。

ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、お買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。
この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。



その他ご不明の点は

お買い上げの販売店かお近くの当社または「お客様相談室」までご連絡ください。

パロマお客様相談室	〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	TEL 052-824-5145

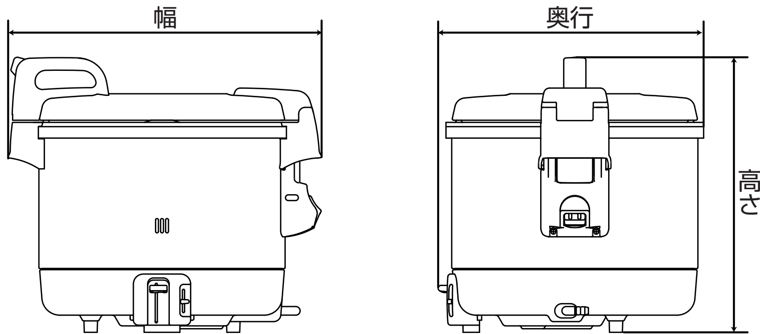
仕　様

品　名		PR-3200S	PR-4200S
器具名		PR-3200S-1	PR-4200S-1
型式名		H-5-2	H-6-2
種　　類		ガス炊飯器	
点火方式		連続放電点火	
外形寸法（高さ×幅×奥行）		348×438×371mm	385×438×371mm
質量（本体）		8.0 kg	8.6 kg
炊飯量	最　小	0.8L(4.4合)	1.2L(6.7合)
炊飯量	最　大	3.0L(16.7合)	4.0L(22.2合)
ガス接続		φ9.5mm ガス用ゴム管	
電　源		AC100V　50Hz／60Hz（家庭用電源）	
最大消費電力		310W	
電源コードの長さ		1.5m	
安全装置		立消え安全装置	

使用ガスグループ		ガス消費量 kW	
		PR-3200S	PR-4200S
都市ガス用	12A	2.62	3.26
都市ガス用	13A	2.79	3.49
都市ガス用	L1(6B,6C,7C用)		2.91
都市ガス用	L2(5A,5AN,5B用)		2.79
都市ガス用	L3(4A,4B,4C用)		2.33
都市ガス用	6A		3.02
都市ガス用	5C		2.56
LPガス用		2.79	3.72

◎本仕様は改良のため知らせせずに変更することもあります。

■寸法図



保 証 書

品　名	PR-3200S・PR-4200S	ガス炊飯器

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《無料修理規定》

1．取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3．ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4．ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お近くのパロマへご相談ください。
5．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動(取付工事依頼の必要な機器の場合)、落下等による故障および損傷
(ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
(ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輌、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
(ト) 本書の提示がない場合
6．本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
7．本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前　　　　様	保証期間	お買い上げ　　年　　月　　日から１年	
	ご住所　〒	販売店名	店名	
			住所	
	お電話		電話番号	

株式会社 パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052（824）5145



修理記録

年　月　日	修 理 内 容	サービス員㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

21.10. ① H 02 93845